



バイリンガル子育ての ヒント

vol.8

「日々の習慣」



子供の日本語力、特に語彙力、表現力を高めるために、日々どんなことに気を付ければよいのでしょうか？3つのポイントをお話します。

直すのではなく正しい言い方で繰り返す

子供の日本語の文法が間違っていたり、英語が混ざっていたりした場合、例えば「今日はピンポンで遊んだの」と子供が言ったとします。その時はあからさまに直すのではなく、「そう、今日は卓球したのね。楽しかった？」とさりげなく正しく言い直し、次の会話に繋がります。この習慣がつくと子供は、自分で間違いに気が付いて「そうなの、今日卓球して、楽しかったよ」というような答えが返ってくるようになります。間違った言い方を使って恥ずかしい、英語を使って失敗した等の

ネガティブな気持ちを子供に与えることなく、自然に正しい言い方を身につけさせましょう。

「どういう意味？」にきちんと答える

子供がある程度の年齢になると、「〇〇はどういう意味？」、「〇〇って何？」と聞いてくるようになります。もちろん辞書を与えて自分で答えを見つけさせるという方法もあります。でもここは格好の学習のチャンス。時間の許す限り、丁寧に教えてあげましょう。「猫背って何？」と聞かれたら、実際に背中を丸めてみせて、「ほら猫の背中みたいでしょ。こうやって背中を丸めた姿勢のことを言うんだよ」という風입니다。1つ1つの質問に日々丁寧に答えてあげること、子供の日本語力は確実に向上します。

様々な場面で日本語を使う

豊かな語彙力、表現力を身につけるには、様々な場面で、色々な人と日本語を使うことです。日常生活でご飯を食べたり、宿題をみたりする時に子供と使う語彙、表現は限られています。キャンプに行った時にはキャンプでしか使わない、花火を見に行った時は花火を見る時にしか使わない、言葉、表現がありまます。皆さんに一貫して日本語をとお勧めしている理由の1つはここにあります。また同じ日本語の話し手でも、様々な年齢、職業の人と話すことで、語彙力、表現力は伸びていきます。本やテレビ、ビデオも然りです。これらを上手く利用することで、子供は普段皆さんとの会話では聞かない語彙、表現に触れることができます。



宮崎 直子

津田塾大学英文科卒、イリノイ大学アジア研究科(日本語教育、言語学専攻)修士課程卒。ことば+カルチャー (kotobaandculture.com) 代表。

